

一般質問

市の明日を考える!

6月定例会の一般質問は、6月16日から18日の3日間にわたり14人の議員が登壇し、活発な議論が展開されました。

主な質問について、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載します。

[発言順]

小野利美

[無所属]



- ① 運動広場の確保について
- ② 人口減少対策について

問

- ① ① 応急仮設住宅の入居期間について
- ② 今後の市の対応について
- ② 産婦人科医の確保について

答

- ① ① 福島県知事より、1年間の更なる期間延長の通知があり、平成28年3月末日までとなる。
- ② 既存グラウンドや学校開放グラウンドを最大限有効に活用いただき、調整を図りながら利用環境の改善と整備を図っていく。
- ② 出産や子育てに係る環境整備は、最重要課題である。民間の医療も含めた産科の医療体制の整備に取り組んでいく。

本多俊昭

[真誠会]



- ① 障がい者の福祉施策について
- ② 除染作業について

問

- ① ① 障がい者相談支援体制について（地域での自立に向けた支援の充実は。）
- ② 社会参加の促進について（就労への取り組み、社会参加の活動支援は。）
- ③ 障がい児童への対応について（現時点の対応と将来に向けた対応、保護者への児童の将来の不安に対する対応は。）
- ② 除染作業について（現在進められている除染の進捗状況は。）

答

- ① ① 基幹相談支援センターを社会福祉法人牧人会に委託設置、相談支援事業者の連絡調整や関係機関との連携を図っている。
- ② 管内事業所や公共職業安定所と連携して情報交換を行っている。
- ③ 身近な地域で必要な支援を引き続き受けられるよう検討していきたい。あだち地方自立協議会において年4回の情報交換会を開催している。
- ② 住宅除染59.21%、市道除染実施延長349.3キロは完了または施工中。本年は、162キロ計画している。

平 栗 征 雄

[市政刷新会議]



- ①市で受け入れた災害公営住宅建設について
- ②学校の教育環境改善の取組みについて

問

- ①公営住宅が建設され移住完了には何年かかると考えているか。グラウンドの開放については、どの様な話し合いになっているか。



災害公営住宅の早期着工を願う根柢山地区内

- ②地元でなく、外部からの影響が大きい。学校、教育委員会として、どの様に取組んできたか。

答

- ①移住完了については、340戸の住宅建設がなされ、平成27年度以降早期の入居を目指す。できるだけ早い時期にグラウンドの使用再開が出来るよう県との連携をはかっていく。
- ②義務教育であるので、全校生徒が落ち着いた環境の中で学習活動ができるよう努めている。この件に関しては、相手の教育委員会を訪問し、保護者、地域住民の気持ちを伝え、状況の厳しさを理解してもらっている。

菅 野 寿 雄

[市 政 会]



- ①豪雨災害からの復旧工事進捗状況について
- ②子育て支援策について

問

- ①①農業施設復旧工事における入札不調の原因をどう分析しているか。
②再入札の結果及び今後の復旧工事实施の計画は。
③大規模な被災農地復旧への支援制度はないのか。
- ②出産を契機に退職した母親が就職活動を行う場合、保育所入所基準を満たすのか。

答

- ①①労働力不足や作業環境の厳しさ、除染業務との調整等により入札参加控えがあったものと認識している。
②5月の再入札において21件中18件が落札、3件が再不調となった。7月に残り18件の工事と合わせて再入札の準備をしている。
③対象農家との協議の場を再度設け、現行補助事業の特例措置等、負担軽減の方法を再度検討する。
- ②現行制度では保育所に入所できないが、会社での面接等の際は一時保育により預かることができる。

安 齋 政 保

[市 政 会]



- ①住宅除染の進め方について
- ②道路改良について

問

- ①住宅除染実施同意書の申し込み状況は。希望しない理由は何か。(本年5月27日に発注した第6期分まで)
- ②市道陣場・上種田線については、地元企業、学校の通学路、見通しの良くない交差点など危険が多いところであり改良すべきでは。



通学路にもなっている市道陣場・上種田線

答

- ①除染希望9,547件、希望しないが1,619件、未回答が1,456件。希望しない理由としては、高齢であるため、一人暮らしであるため、子どもがいないため、線量が低いため、仮置きする場所がない等。
- ②歩道の設置はないが、道路幅員等は確保されており、今後、交通状況等を把握して安全対策を検討していく。県道二本松川俣線との交差点はカーブの中にある大変危険な交差点であることから、県に対して局部改良の要望を検討する。

熊田 義春

[市政会]



- 1 独立行政法人地域医療機能推進機構二本松病院について
- 2 新工業団地整備（高平）について

問

- 1 ①産婦人科医師の確保対策進捗状況は。
②寄附講座開設を視野に入れた内容での進捗状況は。
- 2 地権者への説明責任は、その後どうされたのか。

答

- 1 ①全国的に医師不足で、特に産婦人科医師は深刻であるため、未だ派遣協力の目処は立っていない。
②本年3月までに関東圏内の医学部のある23校全てと、関東圏外では4校に派遣依頼した。金額については、他自治体の例をもとに年間3,000万円と試算している。
- 2 期成同盟会長と協議を進めながら今後、地権者の方々から説明会開催の要望があった場合には、説明会を開催し、現状について説明し理解が得られるよう努める。

小林 均

[公明党]



- 1 公衆無線LANの整備に関する助成制度の創設について
- 2 地方公会計の整備促進について

問

- 1 本市の魅力を発信できる機会を増やし、観光分野の地域間競争で優位に立てるよう観光客の利便性を高める公衆無線LAN（無料Wi-Fiサービス）を整備する旅館、飲食店などの商業施設に対する設置経費の助成制度の創設を検討しては。
- 2 5月、総務大臣より市町村長宛に「今後の地方公会計の整備促進について」として通知が出された。本市でも固定資産台帳整備を進めつつ、複式簿記導入に向けた体制強化を図る必要があると考えるが。

答

- 1 2020年開催予定の東京オリンピックに向け、全国的にもまた、本市を訪れる外国人観光客も増加することが期待される。公衆無線LANの助成制度については、観光振興施策としての波及効果など総合的な観点から検討していきたい。
- 2 国は平成27年度に、統一的な基準と財務諸表マニュアルを示すとともに、ICTを活用したソフトウェアの開発を進めている。本市の導入に向けた準備は、これらが示された段階で対処していきたい。

菅野 明

[日本共産党二本松市議団]



- 1 昨年の豪雨災害による農地等の復旧について
- 2 東和地区のコミュニティバスの運行について

問

- 1 初森地区を中心に農地等の災害復旧が進んでおらず、「大雨がきたら大変」との声が出ている。農地等の復旧はどこまで進んだか。いつ頃までに終わる予定か。農地復旧に10分の3の市単独補助があるが、農家負担の軽減のため補助率を抜本的に引上げてはどうか。
- 2 戸沢地域の方より「バスを落合まで延長し運行してほしい」との声がある。通院や用足しができるように、交通弱者にも配慮した運行にすべきと考えるがどうか。

答

- 1 農業施設補助災害復旧工事は全件発注に向け事務を進め、農地復旧も市単独補助により進めている。復旧は今年度末を最終目標としている。補助率については再度、対象農家と協議し、特例措置や暫定的な復旧に合わせた実施等の負担軽減手法とともに、十分検討する。
- 2 現在の直通便の利用状況や需要の有無、延長に要する財政負担、さらには今年10月運行のデマンドタクシーの利用状況等を慎重に考慮しながら検討していく。